

陣馬三登①陣馬新道コース

日時：2021年11月10日（水） 天候：晴 健脚LV2 歩数：2万歩 距離：11km

集合：JR高尾駅北口改札 8時20分

コース：JR高尾駅北口（陣馬高原下行きバス8時40分発乗車）→陣馬高原下バス停^{陣馬}（標高330m）
→陣馬街道→陣馬新道→陣馬山^{陣馬}（標高855m 昼食）→高尾陣馬縦走コース～奈良子峠→明王峠（標高739m）→孫山（標高543m）→与瀬神社→JR相模湖駅（標高201m）

参加者 市村(L) 山田(SL) 三田(SL) 勅使河原 五十嵐 平石 熊坂 伊藤 奥村 内海 10人

陣馬山は、戦国時代に武田軍が陣を張った「陣張山」に由来し、山頂からは南に富士山、東に関東平野、北に奥多摩のパノラマが開けます。白馬のモニュメントがある陣馬山山頂をめざす3回シリーズ。1回目はひらめきウォークで開催、晩秋の「陣馬三登①陣馬新道コース」に10人が参加しました。コースは陣馬高原下から陣馬山に登り、明王峠～孫山を経由して、陣馬高原下から真南の相模湖駅へ下ります。

この日の八王子市の気象予報は、終日晴で降水確率0%、最高気温20℃、湿度は20%台で絶好の山行日和。平日開催でしたので登山者少なく、山頂の白馬モニュメント前の集合写真も順番待ちせずに撮ることができました。青空と白い雲を背景に笑顔の写真、もちろん山頂を極めた達成感もありますが、山田SLのシャッターを切った後の突き上げる人差し指、みなさんに大受けです。



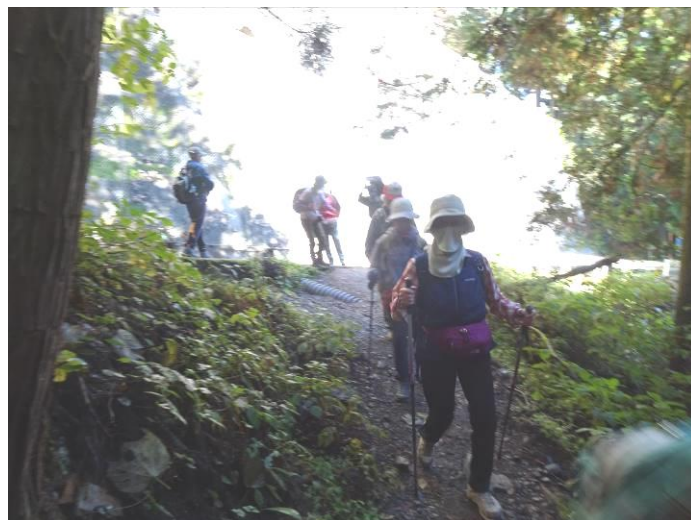
高尾駅北口～浅川沿い～案下川沿い～陣馬高原下バス停～ストレッチ

集合はJR高尾駅北口、高尾駅は1901年（明治34年）に官設鉄道浅川駅として開業。1961年に高尾駅へ改称となった中央本線の駅。社寺風造りの北口駅舎は関東の駅百選に選ばれています。陣馬山登山などのバスターミナル駅で休日は登山者で賑わいます。この日、電車は通勤客や通学生で混んでいましたがバスは登山者少なく空いていました。バスは広大な八王子霊園を通過、浅川沿い、上流の案下川沿いを走り40分ほどで終点の陣馬高原下バス停へ到着。少しひんやりするような気温でした。乗ってきたバスが高尾駅へ向けて発車した後の駐車場を利用して、山田サブリーダーのリードでストレッチを行いました。



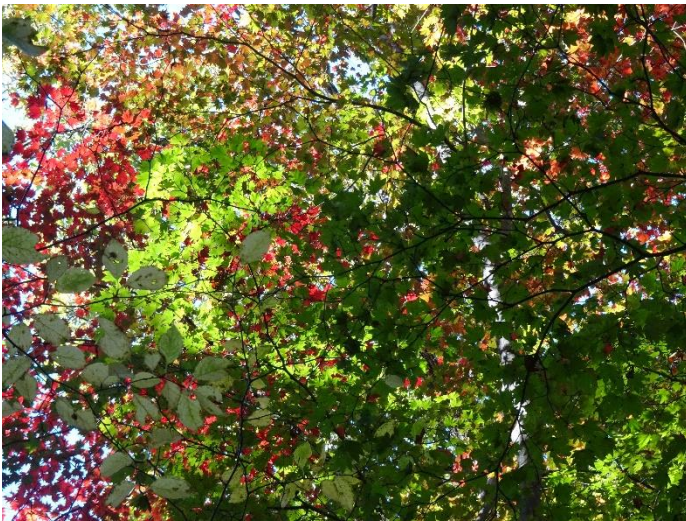
コース説明 陣馬高原下バス停 9時40分～陣馬街道～陣馬新道分岐

市村リーダーが、「安全に楽しく山行するためには、自分の脚力度を知ることが大事だと思います。陣馬山登りはほぼ1本道です。先頭は三田SLが詳細地図社コースタイム85分を目安に登ります。中ほど市村Lが1割増しの94分を目安に歩きます。最後尾は山田SLです。ご自分のペースで歩いてください。安全を期してトランシーバーで連絡を取り合い登って行きます。山頂では富士山の景観が望めるでしょう。15時前には相模湖駅へ下山したいと思います」とコース説明。9時40分にスタート、和田峠へ向かう車道の陣馬街道を上ります。陣馬新道分岐で水分補給と衣類調整をして、いよいよ山道に入ります。



分岐～九十九折り～光り越しの紅葉～直登～11時14分 陣馬山山頂

陣高原下から陣馬山山頂を目指すコースは、見通しの悪い陣馬街道車道を和田峠まで上らなければなりませんでしたが、2002年に陣馬新道が整備されて魅力的になりました。樹林帯の中の九十九折りの道を右へ左へと進み高度を上げて行きます。見上げると光り越しの紅葉がきれいでした。道はかなりの直登になり、ロープも張られていて木の根も露出しています。和田峠からの道に合流して、しばらくすると白馬のモニュメントが見えてきました。三田S Lと熊坂さんが11時11分、市村Lのグループ6人が11時14分で1割増し丁度の94分、最後尾山田S Lのグループが11時22分で2割増しの102分で山頂へ到着。



陣馬山(標高855m)大山から丹沢山塊、富士山、奥多摩山並みの眺望

陣馬山は、八王子市と相模原市藤野の境にそびえる峰で藤野十五名山のひとつです。山頂は広く茶店もあります。この日は風が強く、比較的風が弱いところのテーブルと清水茶屋に分かれて昼食。大山から丹沢山塊、富士山、奥多摩の山並みが眺望できました。大山の稜線がくっきりと望めました。晩秋の富士山は大分冠雪、山頂は雲で隠れていましたが、これも自然の一瞬を切り取った良さがあるかと思えます。



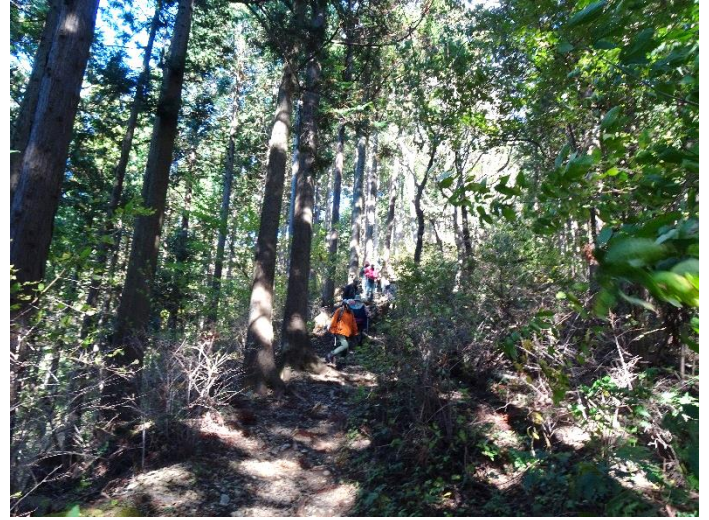
陣馬山 12時00分～奈良子峠～12時38分明王峠(標高739m)

白馬のモニュメントを背景に、久々に健脚参加の五十嵐さん、サブリーダーの山田さんをパチリ。「山田さん、白馬に跨ってー」の声に、山田さん、あとで「白馬に跨ろうかと一瞬思いましたが、やめて正解でした」と語っていました。12時下山開始、明王峠をめざします。アップダウンを繰り返して陣馬高尾縦走路を気持ちよく歩きます。ここは、今回のコースで一番歩きやすい道です。標高を100m以上下げて12時38分、先頭が標高739mの明王峠へ、この日藤野十五名山2山目を踏破。山肌に色鮮やかなアザミの花が咲いていました。明王峠の標柱を挟んで集合写真を撮りました。



明王峠～急峻な下り明王イタドリ縦走コース～林道出会～大平小屋跡

12時50分、明王峠から明王イタドリ縦走コースを下ります。最初は緩やかでしたが次第に急峻になり、慎重に足を運びます。13時06分に林道出会へ、林道を左へ下って行くと旧甲州街道で歩いた美女谷へ出ます。直進します、一昨年10月の台風19号の爪痕があり一部滑落、「通行注意」の貼り紙がありました。13時32分、大平小屋跡まで下りてきました。「おおだいら」ではなく「おおひら」と読みます。



大平小屋跡～13時53分孫山(標高543m)～眼下に相模湖の景色

大平小屋跡を出てしばらく進むと孫山分岐、13時53分に三田さんを先頭に6人グループが孫山(標高543m)に到着。風が少し冷たくなるなか後続待ちをしながらベンチで小休憩、内海さん差し入れの甘いお菓子が美味しい。左へ行くと旧甲州街道で歩いた小原宿、昔人もこの山頂で一息入れたのかも知れません。14時05分、下山開始。孫山南尾根コースの急峻な下り、勅使河原さん、奥村さん、内海さんがしっかりした足取りで下山。与瀬神社へ大分近づいたところで眼下に相模湖の景色が飛び込んできました。



与瀬神社～参道～市街～14時59分 相模湖駅へ下山 歩数2万歩

案内版によると湖の向こうに見える山は石老山のようです。あと与瀬神社まで500m、ここからがこの日一番の急峻な下りだったと思います。写真撮影の余裕なしでした。先頭グループ14時35分、与瀬神社まで下りてきて小休憩。中央自動車道の上の与瀬神社参道を通して相模湖市街へ下りました。14時59分、先頭グループが相模湖駅へ到着。晩秋の「陣馬三登①陣馬新道コース」、山の爽やかな空気を満喫、心地よい疲れを感じる楽しい山行でした。山田SLのリードで入念にクールダウンしました。次回は来春を予定しています。
(いちむら記)

